

[普及事項]

新技術名：9月下旬に収穫できる白毛の晩生エダマメ新品種「秋農試40号」

(平成13～23年)

研究機関名 秋田県農業試験場野菜・花き部園芸育種・種苗担当  
担当者 佐藤友博・檜森靖則・他1名

[要約]「秋農試40号」は、県産エダマメ端境期の9月下旬に収穫できる晩生新品種である。  
毛じが白色で、莢外観が良く、香りがある。

[普及対象範囲]

秋田県内のエダマメ生産者。普及予定地域は県内全域。種子の供給は秋田県内に限定しており、2014年度は19haに作付けされている。今後、県内主要品種と同程度の50haに普及見込み。

[ねらい]

本県は、中晩生の良食味品種「あきた香り五葉」(2007年)を育成し、他産地との差別化とブランド化を図っている。

一方、「あきた香り五葉」と同時期に収穫できる白毛の品種として、民間種苗会社の「錦秋」があげられるが、生産者、指導機関等からは白毛の長期継続出荷を可能にするため、「錦秋」前後の端境期を埋める品種が要望された。そこで、「錦秋」の前に収穫できる「あきたさやか」(2009年)を育成した。

次の段階として、「錦秋」の後の端境期に収穫できる晩生品種の育成を図る。

[技術の内容・特徴]

1. 「秋農試40号」は、2001年に県内在来大豆の「AG209」(種皮色緑、晩生)を種子親、「AG306」(種皮色茶、中生)を花粉親として交配し、本県の気象条件の下で栽培、選抜、育成した品種である(図1)。
2. 6月10日播種時の収穫日は9月21日で、「錦秋」と「秘伝」の間に収穫できる。主莖長は「錦秋」より長く、「秘伝」より短い。種皮色は緑、花色は紫、小葉は3枚である。若莢の大きさは「錦秋」、「秘伝」に比べて小さく、「あきた香り五葉」に比べて、長さは同程度で幅はやや広い(表1)。
3. 可販莢収量は「錦秋」、「秘伝」に比べてやや少なく、「あきた香り五葉」と同程度である。毛じは白色で、莢の外観が良く、香りがある(表2)。
4. 播種適期は6月5日～20日で、収穫適期は9月20日～30日であるため、県産エダマメの端境期を埋めることができる。本品種と「あきたさやか」、民間種苗会社の品種を組み合わせることにより、白毛品種の長期継続出荷が可能である(図2)。

[成果の活用上の留意点]

1. 排水対策を十分に行う。
2. 施肥量、栽植密度は晩生種に準じる。

[具体的なデータ等]

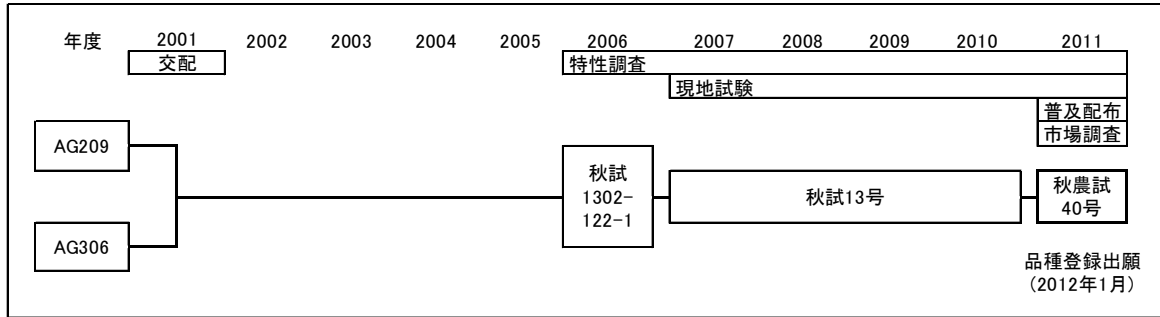


図1 「秋農試40号」の育成経過

表1 秋農試40号の特性-1 (2006~2011年、育成地、数値は6年間の平均値)

| 品種名     | 種皮色 | 開花期<br>(月/日) | 花色 | 収穫期<br>(月/日) | 播種から収穫まで日数<br>(日) | 主茎長<br>(cm) | 主茎節数<br>(節) | 分枝数<br>(本) | 小葉数<br>(枚) | 若莢の大きさ<br>長さ(mm) 幅(mm) |      |
|---------|-----|--------------|----|--------------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------|------------------------|------|
| 秋農試40号  | 緑   | 8/3          | 紫  | 9/21         | 104               | 52.8        | 13.8        | 6.0        | 3          | 54.1                   | 15.2 |
| あきた香り五葉 | 黄   | 7/26         | 紫  | 9/9          | 92                | 40.5        | 10.9        | 3.7        | 5          | 53.9                   | 13.4 |
| 錦秋      | 淡緑  | 7/26         | 白  | 9/9          | 92                | 44.5        | 12.1        | 4.4        | 3          | 60.3                   | 14.3 |
| 秘伝      | 緑   | 8/9          | 紫  | 9/30         | 113               | 73.2        | 16.1        | 6.9        | 3          | 60.3                   | 15.8 |

注) 6月10日播種(直播)、うね幅75~80cm、株間25~30cm、2粒まき1本立て。若莢の大きさ: 2胚珠2粒莢を調査。

表2 秋農試40号の特性-2 (2006~2011年、育成地、数値は6年間の平均値)

| 品種名     | 莢粒数別割合 |        |        | くず<br>莢率 (%) | 可販莢                       |            |              | 毛じ<br>の色 | 食味  | 香り | 病害発生程度 |     |
|---------|--------|--------|--------|--------------|---------------------------|------------|--------------|----------|-----|----|--------|-----|
|         | 3粒 (%) | 2粒 (%) | 1粒 (%) |              | 莢数<br>(個/m <sup>2</sup> ) | 1莢重<br>(g) | 収量<br>(kg/a) |          |     |    | べと病    | 茎疫病 |
| 秋農試40号  | 6      | 68     | 26     | 36           | 230                       | 2.9        | 67           | 白        | やや優 | 有  | 微発     | 微発  |
| あきた香り五葉 | 18     | 61     | 21     | 34           | 229                       | 2.8        | 66           | 淡褐       | やや優 | 有  | 中発     | 中発  |
| 錦秋      | 8      | 74     | 18     | 25           | 276                       | 3.5        | 98           | 白        | 中   | 無  | 少発     | 少発  |
| 秘伝      | 5      | 65     | 30     | 49           | 202                       | 4.2        | 82           | 白        | やや優 | 有  | 微発     | 微発  |

注) 健全に生育した個体から収穫した莢を調査に供した。可販莢: 2粒/莢以上。

病害発生程度目安: 微発: ~5%、少発: 5~15%、中発: 15~30%、多発: 30~50%、激発: 50%~。

| 毛じ  | 月            | 8月 |   | 9月 |   | 10月 |
|-----|--------------|----|---|----|---|-----|
|     | 旬            | 下  | 上 | 中  | 下 | 上   |
| 白毛  | 夕涼み          | ■  |   |    |   |     |
|     | あきたさやか(県育成)  |    | ■ |    |   |     |
|     | 錦秋           |    |   | ■  |   |     |
|     | 秋農試40号(県育成)  |    |   |    | ■ |     |
|     | 秘伝           |    |   |    |   | ■   |
| 淡褐毛 | あきた香り五葉(県育成) |    | ■ |    |   |     |

白毛: 市場での青豆タイプ(レギュラー品なので年間を通じてニーズあり)

図2 「秋農試40号」導入後の県産エダマメ収穫期(8月下旬~)